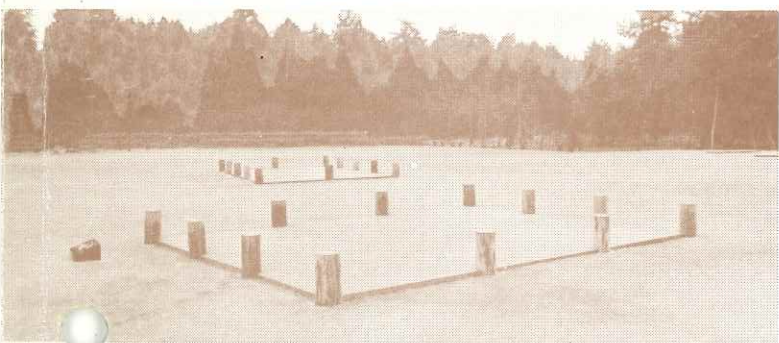


# 三重県の文化財保護

— 昭和59年度 —



1985.3



三重県教育委員会

## 例 言

1. 本書は、三重県教育委員会が昭和59年度に実施した指定文化財等の保存事業を中心にまとめたものである。
2. 国指定史跡斎宮跡及び埋蔵文化財の保護事業については、それぞれ年報を刊行しているので参照されたい。
3. 文化財愛護活動のうち、1. 文化財愛護強調週間行事と、2. 文化財防火デー行事、資料の1. 近代建築調査については市町村教育委員会からの報告をまとめたものであり、資料の2. 国・県指定文化財の修理計画調査については、該当する市町村教育委員会の協力を得て実施した調査をまとめたものである。

## 目 次

I. 文化財の緊急調査	IV. 国指定文化財の保護
1. 近世社寺緊急調査……………1	1. 保存修理……………4
II. 文化財の指定	2. 指定文化財管理……………5
1. 国新指定の文化財……………2	3. 防災施設……………5
2. 県新指定の文化財……………2	4. 無形文化財の伝承……………5
3. 県指定解除の文化財……………2	5. 特別天然記念物保護……………5
4. 市町村新指定の文化財……………2	6. 天然記念物保護増殖……………5
5. 市町村指定解除の文化財……………2	V. 県指定文化財の保護
III. 文化財パトロール事業	1. 保存修理……………6
1. 事業の概要……………3	VI. 文化財愛護活動
2. 巡視報告……………3	1. 文化財愛護強調週間行事……………6
資料 1. 近代建築調査……………16	2. 文化財防火デー行事……………8
2. 国・県指定文化財の修理計画調査……………19	3. 文化財講習会……………15
3. 県新指定文化財調査報告書……………20	

# I 文化財の緊急調査

※印は、国庫補助事業

## 1. 近世社寺建築緊急調査※

近世、なかでも江戸時代中期以降に建立された神社、寺院、霊廟等の建造物については、遺構の数がきわめて多いため、その実態はほとんど把握されておらず、調査、指定が行なわれているのはごく一部に過ぎない。しかるに、これら社寺建築の遺構は建立後かなりの年数を経過しているため大修理を要する時期に達しており、それを機に消滅することが憂慮されているので、総括的な調査を行い、更に重要な遺構については綿密な現状調査を実施し、調査結果は報告書としてまとめ、保存のための基礎資料とした。

### 〈一次調査〉

- 県内対象件数 3,273件 (既調査 210件)
- 調査件数 577件
- 調査は、市町村教育委員会に依頼
- 調査内容
  - ① 社寺名
  - ② 所在地
  - ③ 宗派名
  - ④ 創立・沿革
  - ⑤ 主要建物等の配置
  - ⑥ 建立・沿革
  - ⑦ 資料
  - ⑧ 大工等
  - ⑨ 構造・型式
  - ⑩ 祭神・本尊等
  - ⑪ 文化財の指定の有無

○上記の項目についてカード式調査票に記入し、裏面に写真を貼付。

### 〈調査協力〉

- 各宗教法人代表役員等関係者
- 関係市町村教育委員会ほか

### 〈二次調査〉

- 調査件数 465棟
- 調査 愛知工業大学建築学教室ほか  
(調査主任 浅野 清教授)
- 調査内容
  - ①～⑧ 一次調査と同じ
  - ⑨ 構造・型式
    - ④ 基壇・基礎
    - ⑤ 柱間装置
    - ⑥ 軒
    - ⑦ 梁構架
    - ⑧ 向拝
    - ⑨ 天井
    - ⑩ 塗装
    - ⑪ 仏壇廻り軸部・組物
    - ⑫ 須弥壇・厨子等
  - ⑩ 軸部
  - ⑪ 組物
  - ⑫ 妻飾
  - ⑬ 縁・高欄
  - ⑭ 床
  - ⑮ 彫刻等
  - ⑯ 材料

○上記の項目について所定の調査票に記入し、別に図面・写真等を添付。

## Ⅱ 文化財の指定

### 1. 国新指定の文化財

種別	名 称	員数	時代	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
有 民	伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具	6879点		鳥羽市鳥羽1-23-11	海の博物館	昭60. 4. 19
	集古十種板木	1451枚	江	桑名市吉之丸9番地	鎮国守国神社	昭60. 6. 6
伝 建	関町関宿伝統的建造物群保存地区			鈴鹿郡関町新所・木崎	関町	(選定) 昭59. 12. 10

### 2. 県新指定の文化財

種別	名 称	員数	時代	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
有 考	仏土寺墓地出土品 水晶製舍利塔 1個 壺 1個	2 個		上野東高倉1444	仏土寺	昭60. 3. 27
	水晶製舍利塔 附壺 1個	1 個	鎌	一志郡白山町大字川口	瀬古区長	昭60. 3. 27

### 3. 県指定解除の文化財

種別	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	解除年月日
天	宗林寺のシダレザクラ	昭14. 12. 25	多気郡大台町大字大ヶ所	宗林寺	昭60. 3. 27

### 4. 市町村新指定の文化財

#### 桑名市

種別	名 称	員数	時代	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日	
有 民	桑名日記・柏崎日記関係文書	8	江	桑名市東鍋屋町89番地	不破正人	昭59. 7. 10	
	移封記	1 冊	江	〃	〃	〃	
	御融留	1 冊	江	〃	〃	〃	
	御領分郷村案内帳 附案内帳 1冊	2 冊	江	〃	〃	〃	
	彫	木像徳川家康坐像	1 軀	江	桑名市本町46番地	桑名神社・中臣神社	〃
	工	刀金象嵌銘和泉守兼定(之定)金象嵌銘 鳴神	1 口	室	〃	〃	〃

### 5. 市町村指定解除の文化財

#### 桑名市

種別	名 称	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	解除年月日
天	晴雲寺のアカクロマツ	昭51. 3. 22	桑名市大字安永578	晴雲寺	昭59. 11. 24

### Ⅲ 文化財パトロール事業

#### 1. 事業の概要

三重県下の指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地を巡視し、常時、文化財の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財の保護の万全を期することを目的として、各教育事務所毎に文化財調査員を任命して調査活動を行っている。

建造物・天然記念物の巡視、保護管理指導には、57年度からチェックポイントカードにより調査の徹底をはかっている。

#### 2. 巡視報告 (天然記念物、名勝、建造物)

名 称	所在地	点 検 結 果	名 称	所在地	点 検 結 果
多度のイヌナシ	多度町	生育はよいが他樹木にまけている	不動院ムカデランの群落	松阪市	特になし
美鹿の神明スギ	〃	特になし	水屋の大クス	飯南町	〃
桑名の大イブキ	桑名市	枝をほとんど切ったため枯死	枳ヶ池湿地植物群落	多気町	〃
篠立の風穴	藤原町	特になし	西村広林宅跡のフウ樹	〃	〃
西阿倉川アイナシ自生地	四日市	雑木の枝がはりすぎているので少し切った方がよい。	大杉谷	宮川村	〃
東阿倉川イヌナシ自生地	〃	母樹の幹半分以上腐っているが、二世のアイナシは9本あり元気に育っている。	大杉谷の大杉	〃	〃
奥郷の寒椿	菰野町	特になし	斎宮のハナショウブ群落	明和町	〃
アイナシ	鈴鹿市	〃	千手観音坐像	二見町	特になし
白子の不断桜	〃	〃	薬師如来坐像	〃	〃
長太の大クス	〃	〃	阿弥如来坐像	〃	〃
川俣神社のスタジイ	〃	〃	ハマナツメ群落	南勢町	一部に竹が生えているため、ハマナツメの方に広がる必配がある。
石薬師の蒲ザクラ	〃	やや先枯れが目立つ	獅子島樹叢	〃	樹勢よし
西の城戸のヒイラギ	〃	木の先は枯損し、枝がかなり道路に出ている。	志摩国分寺跡	阿児町	特になし
人道岳イヌツゲおよびアセビ群落	〃	アセビは普通であるがイヌツゲは多く枯れている。	高倉神社附棟札	上野市	特になし
小岐須の屏風岩	〃	鐘乳石が少し折られている。	木造開廣堂	〃	〃
金生水沼沢植物群落	〃	群落調査、地下水位の調査中	射手神社十三重塔	〃	〃
宗英寺のイチヨウ	亀山市	下枝がかなりのび幹がほとんど見えない。	岩根の磨崖仏	〃	〃
野登山のブナ林	〃	ブナの枝には、たくさんヤドリギが寄生し、このため枯れたブナもある。	観音寺本堂	島ヶ原村	〃
鈴鹿山の鏡肌	関 町	特になし	観音寺楼門	〃	〃
椋本の大ムク	芸濃町	特になし	多門天立像	〃	〃
長徳寺の竜王ザクラ	〃	〃	広目天立像	〃	〃
貝石山	久居市	〃	薬師如来坐像	尾鷲市	特になし
貝石山	美里村	古木・竹の置場になっている。	九木神社樹叢	〃	〃
石 棺	一志町	特になし	飛鳥神社樹叢	〃	〃
矢頭の大スギ	〃	〃	法念寺の鉄魚	〃	鉄魚の生育は順調であるが、うなぎが数尾入っているため捕獲の必要がある。
国津神社のケヤキ	美杉村	〃	フウラン群生地	紀 伊 長島町	特になし
東平寺のシイノキ樹叢	〃	〃	大島暖地性植物群落	〃	〃
真福院のケヤキ	〃	〃	豊浦神社々叢	〃	〃
			薬師如来坐像	海山町	特になし
			島勝神社樹叢	〃	〃

## IV 国指定文化財の保護—国庫補助・県費補助事業—

( ) 内は事業主体者

### 1. 保存修理

#### (1) 建造物 専修寺如来堂 (津市 専修寺)

真宗高田派本山専修寺如来堂は、軒先の不陸、屋根全面のいたみ、縁板の腐れ等が目立ってきているため、昭和57年度より保存修理事業に入り、本年度は、通天解体、忠霊堂の曳屋及び素屋根の建設を実施した。

#### (2) 書跡・典籍 本居宣長稿本類 (松阪市 鈴屋遺跡保存会)

本居宣長自筆稿本類は、破損、欠損、虫蝕等がひどく、このため昭和56年度より5か年計画で保存修理に入り、本年度は、覚書・日記・目録その他について、虫穴の繕い、綴じ直し、補修、帙の新調をした。

#### (3) 史跡 上野城跡 (上野市)

上野城跡の石垣は、構築後約400年を経ていて、随所に石垣のはらみ、波打ちが生じて崩壊の危機にさらされているため、昭和55年から6か年計画で築城当時の姿に復元する工事をすすめ、本年度は、旧筒井城石垣140㎡の石垣積替と石垣現況側面図を作成した。

#### (4) 史跡 正法寺山荘跡 (関町)

本年度は、山荘跡北半部600㎡の調査を実施した。その結果中央土壇北側に幅1.9mで長さ15mにわたる通路が確認され、昨年度検出された通路と接続することがわかった。また、北西部では幅2m、長さ4mにわたる階段が検出された。これらは60年度に修復を施す予定をしている。

#### (5) 史跡 水池土器製作遺跡 (明和町)

奈良時代の土師器焼成坩堝が初めて検出され、斎宮跡との関連を考える上で貴重な遺跡としてその活用をはかるため、本年度は、掘立柱建物跡2棟の遺構標示、土器焼成坩堝2基の標示と模型の設置及びベンチ等を付設した。

#### (6) 考古資料 伊勢神島祭祀遺物 (鳥羽市 八代神社)

鳥羽市神島八代神社蔵の祭祀遺物(銅鏡・頭椎大刀・銅杯・銅鈴等)99箇については、古代海上交通に関わる祭祀儀礼を知る上で重要なものとして、昭和58年6月6日重要文化財(美術工芸品)に指定されたが、塩害、鏽、樹脂付着等甚しいため、これらを除去し、合成樹脂による保存処理加工を施すとともに、桐製保存箱を新調作製した。なお、昭和38年、重要文化財工芸品に指定された金銅象嵌鉄形についてもあわせて保存処理加工を施した。

## 2. 指定文化財管理

### (1) 建造物 庫蔵寺鎮守堂 (鳥羽市 庫蔵寺)

昭和24年、鎮守堂の覆屋を建築し、鎮守堂の保存管理をしてきたが、35年を経過して屋根の破損が目立つようになったため、部分的な屋根葺替を実施した。

## 3. 防災施設

### (1) 建造物 専修寺御影堂ほか (津市 専修寺)

真宗高田派本山専修寺は、国宝2件を含む多数の重要文化財を有しながら、火災等に対する設備が不十分なため、昭和57年度から7か年計画で重要文化財御影堂を中心とした防災施設の建設に入り、本年度はポンプ設置・ポンプ室及び屋外配管・放水銃6基等を設置した。

## 4. 無形文化財の伝承

### (1) 無形文化財 伊勢型紙 (鈴鹿市)

鈴鹿の伊勢型紙の技術保持者の指導のもと、中堅技術者を対象として伝承者の養成及び資料の収集に努めるもので、本年度は第5期2年次にあたり、伝承者14名による復刻作品及び糸入れの研修、和紙生産地への視察を行った。

## 5. 特別天然記念物カモシカ保護

近年、人工造林地の幼齢木に対するカモシカの食害が増加し社会問題化しているため、環境庁・林野庁・文化庁の三庁協議にもとづいて、種の指定から生息地による指定へ移行するための経過措置として保護地域設定がすすめられ、保存のための調査とともに食害防除のための防護柵設置を行った。

### (1) 特別天然記念物カモシカ保存対策調査 (三重県)

保護地域でカモシカが安定的に生存できるかどうかを、鈴鹿山系・大台山系について総合的に調査するもので、財団法人日本野生生物研究センターに委託して調査し、報告書にまとめた。

### (2) カモシカ食害対策〔防護柵の設置〕

(県農林水産部) 鈴鹿地区	1か所	2,710m	(飯高町)	6か所	4,992m
(宮川村)	24か所	15,870m	(尾鷲市)	5か所	3,787m
(海山町)	8か所	5,223m			

## 6. 天然記念物保護増殖

### (1) 金生水沼沢植物群落 (鈴鹿市)

昨年度の緊急調査による提言を受け、半減した湿地性植物を回復するため、雑木伐開・セキの設置・地下水及び植生調査を実施した。

## V 県指定文化財の保護—県費補助事業—

### 1. 保存修理

(1) 有形文化財(建造物) 旧小田小学校 (上野市)

明治14年に小田村に啓迪学校として建築されたこの建物は、木造2階建ての洋風建築の代表的なものであるが、屋根の老杯化が著しく雨漏り等もあり、昭和58年度から2年計画で保存修理を行ったもので、本年度は、車寄、露台部(屋根葺替を含む)等の復原修理を実施した。

(2) 史跡 名張藤堂家邸趾 (名張市)

名張藤堂家邸趾は、北側屋根の交錯する部分が落ち込み腐食が進行しているため、昭和57年から3か年計画で保存修理を始め、本年度は、三室及び廊下の床張替・壁塗替・畳入れ替・屋根下地修理、瓦葺替等を行った。

(3) 無形民俗文化財 山神の獅子舞 (玉城町 山神の獅子組)

山神の獅子舞は、寺の境内で行われ、大般若経の転読を伴うこと、舞いがゆっくりした重々しい動きで他の獅子舞とは趣が異なることなどにより、昭和40年12月9日無形民俗文化財に指定されたが、獅子舞胴着及びたて髪が使用に耐えないため、これの新調をした。

## VI 文化財愛護地域活動

### 1. 文化財保護強調週間

11月1日～7日

昭和59年10月22日付の通知に対する各市町村教育委員会の実施報告による。

#### 1. 県

実施事項	実施内容
文化財保護連絡会議 発掘遺跡現地説明会 文化財講演会・講習会	教育事務所単位(教委、開発関係課) 国史跡 齋宮跡 他 齋宮跡、近代洋風建築 他

#### 2. 市町村

実施市町村	実施事項
桑名市	史跡めぐり
菰野町	菰野藩の歴史展
鈴鹿市	文化財講習会、庄野宿関係文書展示会、庁内文化財保護連絡会議
大安町	丹生川上城跡出土品展示
多度町	発掘出土品一般公開
関町	文化財パトロール



実施市町村	実 施 事 項
東員町	山田城跡出土品展示会、史跡めぐり
藤原町	埋蔵文化財展
北勢町	郷土埋蔵文化財展
亀山市	文化財標柱・説明板設置、郷土資料展「宿場町亀山」資料展
津市	郷土史教室（中世城跡、街道、ふるさと文化財めぐり等）、「津の民俗行事と無形文化財」パンフ小中学生配布。
河芸町	昔の生活用品展示会
芸濃町	埋蔵文化財展
安濃町	郷土資料展
香良洲町	ふるさと香良洲の歴史を語るⅡ展
一志町	文化祭の中での民謡発表
白山町	文化財実地調査、教養講座「郷土大三の歴史」高令者学級「川口白山神社と伝説」
美杉村	芸能発表・展示会
三雲村	民俗資料展、史跡めぐり
松阪市	矢土錦山展、本居宣長展、本居宣長旧宅跡・三井家発祥地・長谷川家公開
飯南町	文化財調査、文化財台帳整備、郷土史教室
飯高町	町文化祭文化財展示、文化財広報、老人文化財講座
多気町	町文化祭文化財展示、文化財広報、発掘調査説明会PR
明和町	斎宮跡講演会、発掘出土品展示会、文化財展示
大台町	町文化祭文化財展示、芸能発表会
勢和村	村文化祭文化財展示
宮川村	村文化祭文化財展示、啓発チラシ配布
鳥羽市	文化財ウォークラリー
大宮町	町史編さんのための古文書整理
度会町	埋蔵文化財展示
大内山村	古文書展示会
大王町	発掘出土品展示会
南勢町	文化財愛護啓発講座、同講演会、発掘出土品展示会
南島町	文化財展示、文化財（建築）漏電検査
上野市	文化財研修会（指定文化財めぐり）、啓發文書配布
島ヶ原村	文化財講演会、啓発活動（有線放送）
大山田村	出土品展示会、発掘現地説明会、文化財図書配布
青山町	文化財専門委員会開催、埋蔵文化財確認調査
紀伊長島町	五輪供養塔修復作業、町文化財めぐり、郷土資料館だより発行
海山町	浜中藤兵衛特別展
尾鷲市	文化財探訪会、文化財散歩
熊野市	市文化財専門委員会、郷土芸能祭、市歴史民俗資料館特別展示会
御浜町	文化財愛護広報（有線放送）、文化財・史跡めぐり
紀宝町	文化財・史跡めぐり、文化財パトロール
紀和町	指定文化財標識・標柱設置、町内史跡めぐり
鵜殿村	指定文化財パトロール

2. 文化財防火デー 1月26日－第31回－

昭和59年12月17日付けの通知に対する各市町村教育委員会の実施報告による。

桑 名 市

実施事項	実 施 内 容
防火訓練	1月26日 鎮国守国神社宝物殿より出火の想定。消防署・氏子・消防団等で消火訓練。参加者30名
点検依頼	文化財所有者・管理者に対し、防火等の点検依頼。

多 度 町

防火訓練	2月26日 多度神社社務所より出火想定。消防署・神社職員で、消火・文化財搬出・観光客の避難誘導訓練を行う。訓練後防火設備点検。参加者 20名
防災説明	多度町郷土館において、震災時の心構え、避難、消火器具の使い方等の説明会

四 日 市 市

放水訓練	<p>1月23日 日永薬師堂（市指定薬師如来坐像）</p> <p>24日 聖武天皇社拜殿（市指定）</p> <p>25日 四日市市文化会館（県指定陶製燈籠）</p> <p>〃 志駄神社（市指定志野焼狛犬・古墳出土品）</p> <p>26日 悟真寺（県指定阿弥陀如来、九重の守）</p> <p>〃 観音寺（国指定慈恵大師坐像等）</p>	<p>各消防署、分団出動</p> <p>初期消火、文化財搬出訓練。</p> <p>訓練後反省会、器具点検。</p>
査 察	<p>1月21日 市指定古萬古3点、仏涅槃図、大日如来坐像</p> <p>県指定大入道山車、鯨船山車</p> <p>国指定十六間四方白星兜</p> <p>22日 市指定天春文庫等、御館獅子舞、北野町獅子舞</p> <p>県指定陶製燈籠、毘沙門天立像、阿弥陀如来立像</p> <p>23日 市指定地藏菩薩坐像、薬師如来坐像、四郷村役場、大念仏</p> <p>県指定銅鐸 国指定不動明王立像</p> <p>24日 市指定六名町村方古文書、水沢・豊ヶ山野境紛争の判決文書等</p> <p>県指定阿弥陀如来像、仏頭</p> <p>25日 市指定万葉史跡と聖武天皇社、市場町獅子舞、広和尚画像</p> <p>県指定仏涅槃図、真源大沢禪師像、大般若経等</p> <p>国指定慈恵大師坐像</p> <p>26日 市指定狛犬、志駄神社古墳</p> <p>県指定蠣蝸堂民俗玩具</p> <p>国指定阿弥陀如来立像と胎内納入文書</p>	<p>消防署本部職員1名</p> <p>各消防署職員 1名</p> <p>社会教育課 1名</p> <p>の3名により、消火、防火施設等の査察</p>

菰 野 町

防火査察	1月24、26日 町内文化財の防火査察 福王神社、九品寺、尾高観音、杉谷収蔵庫、大日寺、郷土資料館、明福寺、見性寺、禅林寺
------	------------------------------------------------------------------

広報活動	「文化財防火デー」のPR 町内全戸回覧
------	---------------------

鈴 鹿 市

防火訓練	1月24日 国府町府南寺（国指定木造金剛力士立像2軀）で正しい消火器の取り扱い方等の説明会を実施後、実地訓練を行った。参加者 地区自治会50名、保育園児60名 同寺において火災発生を想定し、放水訓練。 消防署員30名
防火査察	1月24日 文化財所有社寺対象にその管理状態及び防火施設等を点検、問題点を指摘、指導した。参加者 消防署5名、教委1名

亀 山 市

防火訓練	1月26日 石上寺（県・市指定文化財所有）より出火を想定。消防署による消火と文化財の搬出などの訓練を行った。参加者 市消防署12名、市教委4名、管理者等3名
防火説明会	1月22日 防災の心構え、避難及び初期消火、文化財保護と管理について 参加者 市消防署1名、市教委2名、石上寺2名

関 町

防火訓練	1月25日 地藏院本堂から出火を想定。初期消火と重要物品搬出訓練。参加者 20名、消防車2台
防火査察	1月26日 消火栓、防火施設のチェック 参加者 消防署、教委、地藏院5名

津 市

防火訓練	1月23日 西来寺、幼稚園湯沸場より出火想定。避難誘導と消火訓練 参加者 園児120名、職員6名、消防署員11名、参加車両3台
	高山神社、通報訓練、初期消火訓練 参加者 神社関係者5名、消防署員7名、参加車両2台
	1月25日 高田本山専修寺、婦人防火推進委員、地区自治会との合同消火訓練。参加者 本山関係者20名、津市婦人防火推進委員30名、地区自治会100名、消防署43名、参加車両11台。

津 市

消防訓練	<p>1月25日 久善寺 文化財搬出訓練、避難訓練、消火訓練          参加者 寺関係者 10名、消防署 9名、参加車両 2台</p> <p>〃 観音寺 通報訓練、初期消火訓練          参加者 橋内第一市民消防隊10名、消防署15名、参加車両6台</p> <p>1月26日 谷川土清旧宅 通報訓練、初期消火訓練          参加者 地区住民20名、旧跡関係者3名、消防署8名、車両4台</p> <p>〃 雲出小学校玄関、避難誘導訓練、初期消火訓練          参加者 学校関係 550名、自治会10名、消防署17名、車両4台</p> <p>〃 馬宝山蓮光院 通報訓練、初期消火訓練          参加者 寺関係者1名、消防署20名、参加車両4台</p> <p>〃 深正寺 通報訓練、文化財搬出訓練、避難誘導訓練等          参加者 寺関係者3名、消防署8名、参加車両2台</p>
立入検査	<p>消防署より 建造物所有者の立入検査を行った。          谷川土清旧宅(1/24)、阿部喜兵衛商店(1/24)、神宮寺(1/24)、高田本山専修寺(1/25)、          慈智院(1/25)</p>
防火診断 警防調査	<p>消防署より 防火診断及び警防調査を行った。          地藏院、唐人保存会 (1/21)          四天王寺、市杵島姫神社、真教寺、田中繁三氏宅 (1/22)</p>
広 報	<p>市政だより (1/16、2/1) 文化財防火デー記事の各戸配布、文化財所有者への防火注意書配布、ポ          スター掲示、チラシ配布等</p>

河 芸 町

広報活動	<p>文化財防災ポスター掲示、町消防団による防災パトロール、文化財保護審議会委員による文化財所          有者への防災意識の啓蒙推進等</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------

芸 濃 町

防火訓練	<p>1月26日 浄蓮寺(県指定紙本淡彩聖観音立像)より出火想定。通報訓練、初期消火訓練、文化財搬          出訓練。設備点検</p> <p>〃 美濃夜神社(県指定棟札)より出火想定。消火訓練、          芸濃町資料館(町指定)で初期消火、通報の指導、消火訓練、設備点検</p>
広報活動	<p>広報車による「文化財防火」キャンペーン(1/23～28)、文化財防火デーポスター掲示</p>

美 里 村

広報活動	<p>立看板の設置</p>
------	---------------

安 濃 町

防火訓練	<p>1月25日 善福寺(国指定毘沙門天立像) 収蔵庫を中心に防火訓練          参加者 30名(附近住民を含めて)</p>
------	------------------------------------------------------------------------

香良洲町

防火訓練	1月26日 香良洲神社より出火想定、初期消火訓練。訓練後町内パレードで文化財防火をPR。 参加者 36名
------	---------------------------------------------------------

一志町

防火点検	1月17日 矢頭の大杉(県指定)の防火について、管理者、消防署、教委が現地で検討
------	------------------------------------------

白山町

立入調査	1月16日 成願寺、常福寺(国指定所有)、東明寺、倭白山神社、川口白山神社(県指定)について、消火器点検、文化財管理状況調査。 参加者 消防署2名、教委1名
------	-----------------------------------------------------------------------------------

嬉野町

防火訓練	1月26日 薬師寺(国指定木造薬師如来立像)本堂より出火想定し、放水訓練、消火器の使い方、油火災消火の仕方について実施指導。 参加者 消防署、自治会消防隊、自治会等 50名
------	-------------------------------------------------------------------------------------------

美杉村

啓発活動	村内の国・県指定文化財所有者に対し、文化財防火の啓発活動実施。
------	---------------------------------

三雲村

査 察	村内各指定文化財の水利等について消防署に調査依頼。 1月27日 永善寺(国指定阿弥陀如来)で文化財防火デーの趣旨徹底、初期消火の仕方指導、消火設備の点検。 参加者 15名
-----	------------------------------------------------------------------------------------------

松阪市

防火訓練	1月26日 国特別史跡本居宣長旧宅より出火想定し、各種訓練実施。通報、初期消火、タンク車放水等。訓練後初期活動の学習。 参加者 館職員7人、教委等4人、消防署20名
------	---------------------------------------------------------------------------------------

飯南町

啓発・ 広 報	県指定文化財等の所在場所の確認。所有者に火災予防の呼びかけ。無線放送で町内一斉に火災予防の呼びかけ。
------------	----------------------------------------------------

飯 高 町

防火訓練	大地震による火災発生を想定、消防署、婦人会、警察も参加、消火訓練、重要物件搬出訓練を実施。訓練後消火器等の点検。
------	----------------------------------------------------------

多 気 町

広報活動	1月26日 町有線放送を通じて文化財防火を呼びかけ。
------	----------------------------

明 和 町

防火訓練	9月1日 文化財防火指導 参加者、消防、自治会役員、婦人会、学校関係者等 260名
広 報	1/21~26 有線放送、広報車による町内パトロール

大 台 町

搬出訓練	1月26日 古文書及び公文書の保管場所の海洋センターからの出火想定で文書類の搬出訓練。 参加者 10名
啓 発	1月26日 文化財保護調査委員による全社寺への防火啓発。 参加者 5名

勢 和 村

点 検	1月26日 消防器具、機械の点検 参加者 180名
啓 発	1月26日 文化財所有者に文化財防火と管理について指導

宮 川 村

防火訓練	各地区消防団に、社寺仏閣の防火訓練依頼。
広 報	文化財防火デーを町広報紙で呼びかけ。

伊 勢 市

立入検査	1月23日 久昌寺、昨年の是正事項はよし。カマドの目地打ち、木台の不燃化是正指示。消火器異常・漏電なし。消防署2名、中電2名、市教委1名	市消防 2名 中 電 2名 市教委 1名
	1月24日 神宮徴古館・農業館、誘導標識板是正指示、漏電なし、神宮文庫、火災報知機境界区域図明示指示、電気系統指示。旧慶光院、林崎文庫、太刀等収蔵庫、異常なし	
	1月25日 等観寺、寂照寺、世義寺、光明寺、異常なし	
消火訓練	1月26日 金剛証寺、初期消火を放水銃で自営消防団が実施。更にポンプ車消火。漏電等について点検と指導。市消防署20名、中電4名、市教委2名	

度 会 町

防火点検	1月18日 国指定注連指十一面観音立像、下久具獅子頭の防火点検と電気点検 参加者 消防署2名、中電2名、町教委1名
------	--------------------------------------------------------------

鳥 羽 市

防火査察	1月24日 庫蔵寺、正福寺の防火査察と初期消火の指導。 正福寺は貯水槽、貯水池の増設を実施することになった。
広報活動	文化財所有者15名に文化財防火のチラシ配布。

阿 児 町

防火訓練	1月26日 安乗の人形芝居舞台より出火を想定、消火活動、搬出訓練を実施。訓練後、消火器講習、消防長の訓話、反省会も実施。 参加者 消防団、保存会員、教委、住民 28名
防火査察	1月26日 安乗寺の薬師堂の防火査察実施。 参加者 消防署3名、教委2名

上 野 市

防火訓練	1月26日 市場寺(国指定木造阿弥陀如来坐像他)で公民館より出火、延焼を想定。初期消火、搬出、消火の訓練実施。 参加者 消防関係25名、寺関係者地区民25名、教委3名
防火査察	1月25日 指定建造物(高倉神社、常住寺、町井家住宅など11か所)の防火査察 参加者 消防署、教委 3名
消火講習	消火器の扱い方について、実地講習会を開催。

名 張 市

防火訓練	1月26日 奈垣国津神社(市指定棟札、銅鏡)で出火を想定、初期消火、搬出、ポンプ車消火の訓練実施。その後、消火器の取扱い説明と消火訓練、防火映画を鑑賞。 参加者 70名
啓 発	指定文化財所有者に対して、防火対策の強化啓発。(対象 28)

伊 賀 町

防火訓練	1月26日 川東春日神社社務所より出火、延焼を想定。通報、初期消火、搬出、延焼防止訓練実施。湯水時の水対策、火気取扱い講習。 参加者 消防、役場、神社、地区民 50名
------	----------------------------------------------------------------------------------------

島ヶ原村

防火訓練	1月8日 観菩提寺の裏山より出火想定、防火訓練実施。 参加者 寺関係者、住民、消防関係者等 100名
------	-------------------------------------------------------

広報活動	1/23～26 文化財防火デーの周知を有線放送、公報車を通じて行う。 1/21・23 震災時の心構え、避難、初期消火等についての実技講習会開催。 参加者 高令者・婦人・成人学級生及び村民 130名
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

大山田村

防火訓練	1月25日 新大仏寺大仏殿より出火、延焼中との想定で、消火、火災防除活動、非常持出物件搬出訓練を実施、更に消防用設備も点検。 参加者 45名
啓発広報	1/23・24 文化財防火デーの趣旨を有線放送で行う。

青山町

啓 発	1/20～25 文化財専門委員が文化財所有者を訪問、管理状況点検と文化財防火について啓発。
点 検	1月26日 指定文化財を巡回、消火施設及び消火器の点検実施。 参加者 消防組合、役場、教委、文化財専門委員 18名

海山町

防火訓練	郷土資料館で初期消火訓練後、防火検討会を実施。
広報活動	文化財愛護思想と防災意識の高揚のため、ポスター掲示。

熊野市

点 検	市指定建造物の防災点検、安楽寺の消火栓、寺谷郷仕入方質倉消火栓点検 参加 市教委、市文化財専門委員 2名 市歴史民俗資料館の可燃物保存状況点検、保存庫点検、消防施設点検 歴史的建造物（二木島町最明寺）の修理状況調査
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

紀宝町

広報活動	1/24～28 文化財の防災について有線放送で呼びかけ。
------	------------------------------

紀和町

啓 発	1月26日 有線放送、公報車による文化財防火の呼びかけ。
-----	------------------------------

鷓殿村

点 検	村内指定文化財の巡視、所有者への防災に対する注意を呼びかけ。
-----	--------------------------------



### 3. 文化財講習会

第2回文化財講習会を10月5日(金)三重県松阪庁舎大会議室において開催した。この講習会は、文化財保護及び振興の一助と資質の向上を図るため「洋風建築」の歴史的変遷や構造等々を分析し理解を深めることができた。

#### 昭和59年度 三重県文化財講習会実施要項

1. 目的 文化財に携わっている三重県文化財調査員及び市町村文化財保護審議会委員等を対象として、文化財の調査と保護に関する専門的知識と技能の研修を行い、もって資質の向上をはかるとともに文化財の保護と活用の強化に資する。
2. 主催 三重県教育委員会
3. 期日 昭和59年10月5日(金)
4. 会場 三重県松阪庁舎大会議室
5. 対象 三重県文化財調査員、市町村文化財保護審議会委員等、市町村文化財行政担当者等、その他
6. 日程 午前 「東海地方の洋風建築」……名城大学工学部教授 伊藤三千雄氏  
午後 「三重県の洋風建築」……三重大学工学部助手 菅原 洋一氏  
「近代洋風建築調査の実際」……四日市市教委社会教育課 北野 保氏

参加者 86名

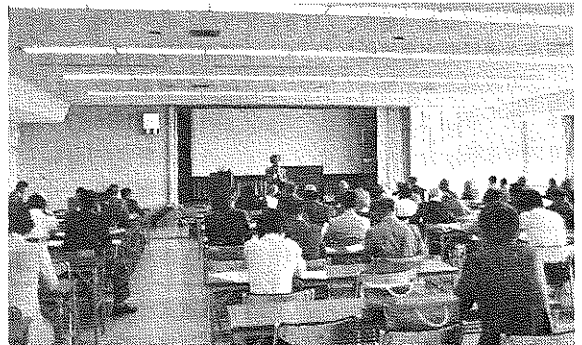
教育事務所別 (北勢) 桑名市、多度町、藤原町、  
参加市町村名 菰野町、亀山市、鈴鹿市、  
四日市市

(中勢) 津市、安濃町、美杉村

(松阪) 松阪市、飯高町、飯南町、  
大台町、明和町

(南志) 伊勢市、南勢町、鳥羽市

(上野) 上野市、名張市、島ヶ原村



資料 1

近代建築調査

明治から大正を経て、昭和戦前に至る約80年間の欧米を範として、近代化を図った時代に建てられた近代建築も、戦災・天災を経て現代の合理化、老朽等を理由に消滅の危機に瀕したために実態を把握し、保存のための基礎資料。

名 称	所 在 地	構 造	建 築 年	所有者及び管理者
北勢町文化財資料保存施設「桐林館」 旧阿下喜郵便局 近鉄阿下喜駅 朝日町資料館（旧村役場）	北勢町阿下喜1980 〃 〃 朝日町大字小向873	木 造 木 造 木造・スレート瓦 木造・日本瓦	昭和11年 昭和14年 昭和7年 大正5年	北勢町教育委員会 稲垣半左衛門 近 鉄 朝日町
三翠会館 旧一身田郵便局 瀬古忠生氏住宅 片田貯水池の管理事務所 日本キリスト教団阿漕教会 百五銀行大門支店 三重県工業技術センター 伊東医院診療所 旧開業医の診察の建物 藤田光典氏住宅 立木清之丞氏住宅 河芸町郵便局 河芸町役場黒田連絡所 津市水道局取水事務所 一志町役場波瀬出張所 誕生寺 高岡神社殿 浄明寺 三雲村役場 市場庄公会堂	津市上浜町1515 〃 一身田町 〃 栄町1丁目141 〃 片田薬王寺町 〃 下弁財1267 〃 大門11 〃 大谷町181-2 〃 柳山津興1487-1 〃 白塚町4998-2 〃 広明町415-3 〃 広明町412 河芸町上野1583 〃 北黒田58 美里村足坂488 一志町波瀬4332-2 〃 大仰1916-1 〃 高野字宇垣内 〃 波瀬2279 三雲村曾原648 〃 市場庄	木造・スレート瓦 コンクリート瓦 木造・瓦 木造・鉄筋・瓦 木造・日本瓦 木 造 鉄 筋 鉄 筋 木造・日本瓦 木造・瓦 木造・日本瓦 木造・日本瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・カラートタン 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦	昭和11年 大正10年 明治中期 大正15年 大正14年 昭和5年 昭和初期 昭和4年 昭和初期 大正末期 大正末期 昭和初期 大正後期 大正14~15年 大正7年 明治14年 明治24年 明治22年 昭和初期 大正初期	三重大学農学部 平松 令三 瀬古 忠生 津市水道局 同教会 百五銀行 三重県工業技術センタ 伊藤 正 吉田 寿光 藤田 光典 立木清之丞 岡 良雄 河芸町 津市水道局 一志町 柏原 智孝 喜田川範夫 福山 利哉 三雲村長 市場庄区
松阪市役所朝見出張所 カネボウ綿糸松阪工場 堀内家住宅 旧 穠山歯科医院 新家守所有建物 丸山眼科医院 宝 温 泉 大河平歯科医院 松阪伊勢信用金庫本店 松阪市役所大石出張所 柴山商会事務所 茅広江郵便局旧局舎 旧大石郵便局	松阪市大宮田町 〃 川井町 〃 殿町 〃 六軒町 〃 六呂木町 〃 新座町2丁目 〃 白粉町 〃 西町 〃 日野町 〃 大石町 〃 上川町 〃 下茅原 〃 小片野町	木造・瓦 煉瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木造・瓦 木 造 木造・スレート 鉄 筋 木 造 木造(モルタル) 木 造 木造・瓦	明治38年 大正12年頃 大正13年頃 大正年 大正未 昭和初め 昭和初め 昭和初め 昭和7年 昭和8年 昭和12年 昭和15年 昭和16年頃	松阪市 同工場 堀内 悦造 岡山 健 新家 守 牧戸 二彦 境 益三 大河平三郎  松阪市 柴山 幸一 勝田 恒 種池 利蔵

名 称	所 在 地	構 造	建 築 年	所有者及び管理者
丹生小学校	勢和村丹生	木造・瓦	大正14年	勢和村
西村平八郎住宅	〃	木造・瓦	明治20年	西村平八郎
桧垣清住宅	〃	木造・瓦	慶長の頃と推定	桧垣 清
飯南郵便局	飯南町横野212-3	鉄 筋	昭和7年	郵便局長
青木医院 (晴光堂病院)	〃 下二柿823-1	木造・瓦葺	大正10年	青木 俊彦
油田医院 (診療所・住宅)	飯高町横野71	木造・住宅一部鉄筋	大正初期 (住宅は昭和7年)	油田 穎一
宮前郵便局	〃 宮山西出229	木造・瓦	昭和12年	松本規一郎
堀内家の客間及び客用玄関	〃 〃	木造・瓦	大正9年	堀内 謹一
堀内逸三郎	〃 〃 1658	木造・瓦	明治25年	堀内 謹一
旧波瀬小学校	〃 波瀬中地265	木造・瓦	昭和2年	飯高町
旧波瀬郵便局	〃 宮山西出229	木造・瓦	昭和2年	飯高町
赤福本店	伊勢市宇治中之切町26	木造・瓦	明治10年	浜田 益種
小西万金丹 (舗)	〃 八日市場町1-20	木造・瓦		小西 清香
旅館 山田館	〃 本町13-1	木造・瓦	昭和3年	篠崎 元宏
東洋紡績KK 伊勢工場	〃 船江1-10-3	煉瓦造	大正11年	同工場
伊勢市立厚生小学校	〃 一志町1-4	鉄 筋	昭和6年	伊勢市教育委員会
鳥羽小学校	鳥羽市鳥羽3丁目1番60号	鉄 筋	昭和4年	鳥羽市教育委員会
菅島灯台	〃 菅島町	煉 瓦	明治6年	鳥羽港航路標識事務所
神島灯台	〃 神島町	煉 瓦	明治43年	同 上
神戸連絡事務所 (神戸公民館)	上野市上神戸220	木造・瓦	昭和3年	上野市
深井診療所	阿山町中友田1341	木 造	明治末	深井 泰俊
菊森氏住宅	〃 西湯舟316-1	木 造	昭和8~9年	菊森 患嗣
長谷製陶株式会社丸柱工場事務所	〃 丸柱568-4	木造・瓦	大 正	同会社
三重県耐火粘土鋳業協同組合	島ヶ原村5913	木造・瓦	昭和17年	同組合
丸山 穰邸	〃 6458	木造・瓦	昭和5年	丸山 穰
竹沢医院	〃 5879	木造・瓦	昭和4年	竹沢 千喜

※該当なしの回答市町村名

(北勢) 桑名市、多度町、長島町、木曾岬村、大安町、東員町、藤原町、四日市市、菰野町、楠 町、川越町、亀山市、鈴鹿市、関 町

(中勢) 芸濃町、安濃町、久居市、香良洲町、白山町、嬉野町、美杉村

(松阪) 多気町、明和町、大台町、宮川村

(南志) 玉城町、二見町、小俣町、大宮町、南勢町、南島町、紀勢町、御菌村、大内山村、度会町、浜島町、大王町、志摩町、阿児町、磯部町

(上野) 名張市、伊賀町、大山田村、青山町

(尾鷲) 尾鷲市、紀伊長島町、海山町

(熊野) 熊野市、御浜町、紀宝町、紀和町、鶴殿村

(追 加)

員弁農協西支所	員弁町笠田新田	木造・瓦	昭和3~4年	員弁農業協同組合
員弁町郷土資料館	〃 大泉	木造・瓦	昭和3~4年	員弁町教育委員会
永井時雄氏宅	〃 楚原	木造・瓦		永井 時雄

(確認済建築物)

市町村名	建 築 名	市町村名	建 築 名	市町村名	建 築 名			
桑名市	諸戸民和邸洋館	T 2	久居市	県立久居農林高等学校	T 8	伊勢市	近鉄宇治山田駅	S 6
	諸戸精文邸洋室	T 5		タナハシ医院	T 12	二見町	賓 日 館	M20
	楽翁公百年記念宝物館	S 9		久居市農協	T 未	阿児町	大矢家西洋蔵	M初
	桑名信用金庫京町支店	S 2		陸上自衛隊資料館	M41	大王町	坂中家洋館	M17
	桑名市老人相談室(電話局)	S 9		〃 曹友会	〃		大王崎燈台	S 2
	武藤外科医院			〃 物品倉庫	〃	志摩町	志摩町営保育所	M16
	森友七郎邸			〃 医務室	M未	御園村	山田赤十字病院	T 15
四日市市	四日市市民センター	S 6	〃 倉庫	T 前	南勢町	楓 江 館	T 2	
	四日市子どもの家	S 4	〃 外来宿舎	〃		橋 川 邸		
	四日市市民壇	S 9	〃 空手道場	〃	上野市	近鉄上野駅	T 11	
	四日市市役所四郷支所	T 10	〃 施設第11	T 10		上野高等学校	M38	
	四郷小学校講堂	S 10				北 泉 清 邸	M22	
	亀山製糸室山工場	M36	旧千城クラブ	S 5		旧上野市浄水場		
	三重富士KK倉庫	M29	芸濃町	芸濃町資料館	T 5	上野文化センター	T 11	
	旧亀山製糸五島工場講堂	T 5	松阪市	松阪市歴史民俗資料館	M45	三重銀行上野支店	S 15	
	富田浜病院第三病棟	T 8		松阪工業高校図書館	T 8	旧小田小学校	M14	
	〃 第五病棟	T 11				上野市水道ポンプ場	S 11	
	〃 図書館	T 11		松阪市公民館	S 17	中外医薬生産株式会社		
	綱勘製網事務所	S 7		中京相互銀行松阪支店	S 5	桑町温泉	S 初	
	四日市市役所八郷支所		旧飯野郡荘学校	M 9	俳 聖 殿	S 17		
	四日市市役所大矢知支所	S 4	松阪地区医師会館	T 10	青山町	旧青山役場		
富州原小学校講堂		勢和村	勢和村商工会、森林組合	S 2	尾鷲市	土井本家事務所	M22	
鈴鹿市	電々公社鈴鹿荘	T 2	伊勢市	旧伊勢神宮庁舎	M36		曾根小学校	M43
	多度町	旧近鉄多度変電所		T 8	神宮農業館	M38	海山町	海山町郷土資料館
	多度小学校	S 8	神宮徴古館	M42	熊野市	丸西衣料店		T 15
津 市	三重県第三庁舎	S 5	神宮文庫	T 14		丸田商店	M37	
	三重刑務所	T 5	〃 書庫	T 14		長阪美恵子邸	T 未	
	川壽田貞久邸文庫	S 5				旧桃崎郵便局	M36	
	斎藤画廊	T 11	電々公社伊勢健康管理所	T 12				
		崇敬会神宮案内所						

資料2 国・県指定文化財（建造物・有形文化財等）の修理計画調査

市町村名	指 定 区 分	文化財 区 分	文 化 財 名	所有者及び 管 理 者	修 理 希 望 年	修 理 の 具 体 的 内 容
関 町	国	建	地藏院愛染堂	地 蔵 院	63	屋根瓦の破損・濡れ縁腐朽等
伊 勢 市	〃	〃	金剛証寺本堂附厨子	金 剛 証 寺	67・68・69	地盤沈下によるゆがみ
島ヶ原村	〃	〃	観菩提寺本堂	観 菩 提 寺	70	桧皮葺屋根の各稜線のいたみ
〃	〃	〃	観菩提寺楼門	〃	63	桧皮葺替
上 野 市	〃	〃	猪田神社本殿附棟札	猪 田 神 社	65・66	屋根葺替
津 市	〃	絵	紙本著色善信上人絵詞伝	専 修 院	61・62	全体に折れが甚しく、剥落の危険
上 野 市	〃	彫	木造五大明王像	常 福 寺	61	防火対策及び堂裏傾斜地崩防止
〃	〃	〃	木造虚空蔵善菩薩坐像	勝 因 寺	61	虫食
伊 勢 市	〃	工	太刀（銘不明）	金 剛 証 寺	71	鞘・鐔の部分黒漆の剥落
関 町	県	建	地 蔵 院 本 堂	地 蔵 院	62・63	屋根瓦・屋根樋下漆食い壁剝離・濡れ縁の腐朽等
上 野 市	〃	〃	木造閻魔堂	常 住 寺	未 定	床板破損
〃	〃	〃	旧小田小学校	上 野 市	61	各壁面及び内部の復原
四日市市	〃	絵	絹本着色仏涅槃図	大 樹 寺	62・63	折れ・すれ・虫食等
〃	〃	〃	絹本着色真源大沢禪師像	〃	61	折れ・すれ・のりばなれ等
〃	〃	〃	絹本着色禅源大済禪師像	〃	64	折れ・のりばなれ・虫食等
上 野 市	〃	〃	十 王 図	常 住 寺	未 定	傷み
東員町	〃	〃	絹本着色景川和尚像	瑞 応 寺	62	本紙特に賛の部分
鈴鹿市	〃	彫	木造釈迦如来坐像	南 陽 寺	64	玉 眼
〃	〃	〃	木造男神像	神 宮 寺	63	腕の虫食
〃	〃	〃	伊奈富神社神宝	伊奈富神社	62	虫食
伊 勢 市	〃	〃	木造阿弥陀如来坐像	光 明 寺	64・65	両手首及び両人差指
上 野 市	〃	〃	木造日光菩薩立像	仏 土 寺	61	} 腐蝕朽損
〃	〃	〃	木造月光菩薩立像	〃	61	
島ヶ原村	〃	〃	木造聖観音立像	観 菩 提 寺	71	
〃	〃	〃	木造十一面観音立像	〃	71	
〃	〃	〃	木造多門天立像	〃	71	}
〃	〃	〃	木造広目天立像	〃	71	
名張市	〃	〃	木造薬師如来坐像	西 音 寺	62	虫食い修理・虫避け対策
津 市	〃	工	刀（No19）	護 国 神 社	61	錆
志摩町	〃	有・民	越賀の舞台	志 摩 町	61	屋根瓦葺替・囲板修理

資料3 県新指定文化財調査報告書

1. 仏土寺墓地出土品 上野市東高倉1444

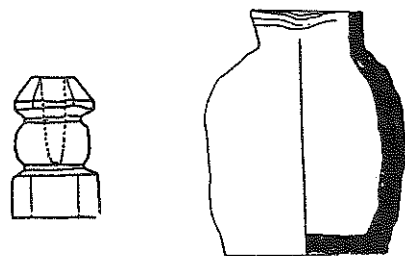
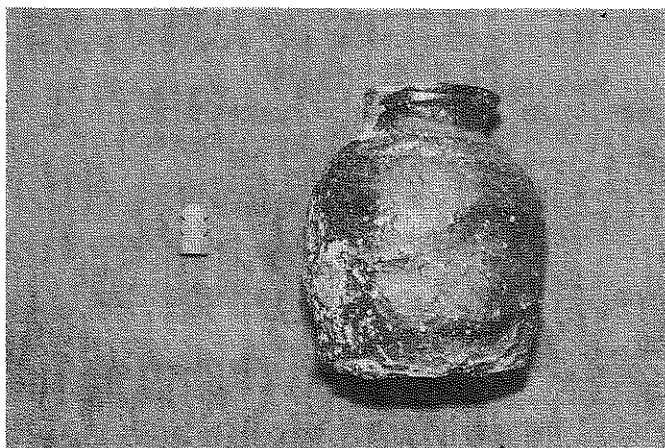
満岡忠成委員、服部貞蔵委員、豊岡益人委員、  
仲見秀雄委員 昭60. 2. 25 調査

- 仏土寺は東高倉字平野に所在、真言宗豊山派。
- 歴代住職の墓地整理作業中、現住職滝口光賢氏が発見されたもの。
- 水晶製五輪塔は、鎌倉時代重源上人が中国から将来した水晶製五輪塔などと同様のものと認められ、恐らく高僧により中国から将来されたものと考えられ、様式から見て日本の鎌倉時代のもものと推定される。
- 五輪塔は半透明水晶製、六角形、火、木・地輪が続いている。空、風輪を欠く。中心部に径4mm、深さ7mmの不整孔があり、舍利粒納入、空、風輪を挿着したものと考えられる。
- 五輪塔を納めた片口壺は、全体茶褐色で、自然釉の痕は剥げている。信楽風ではあるが、伊賀焼とみられる。

○法 量

水晶製舍利塔	高さ 2.8cm、六角対角寸 1.9cm、火輪高 0.8cm、水輪高 1.0cm、地輪高 1.0cm
伊 賀 焼 壺	高さ 15cm、底径 10.5cm、口径 7.7cm、胴張直径 13.5cm、口首径 7.0cm、肉厚 1.2cm

(満岡忠成)

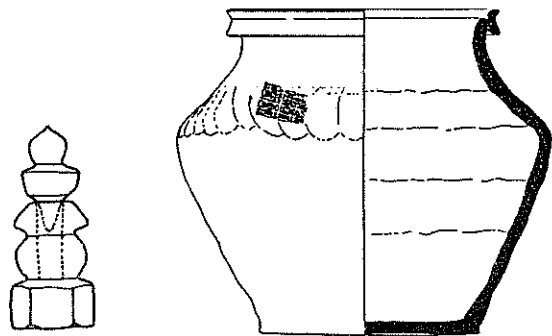


水晶製舍利塔 壺

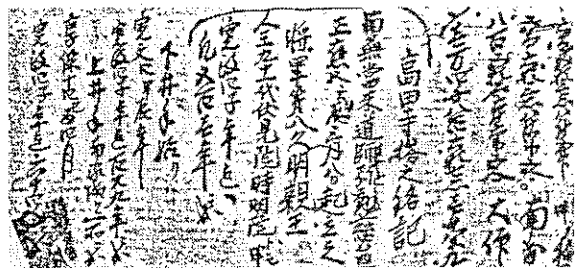
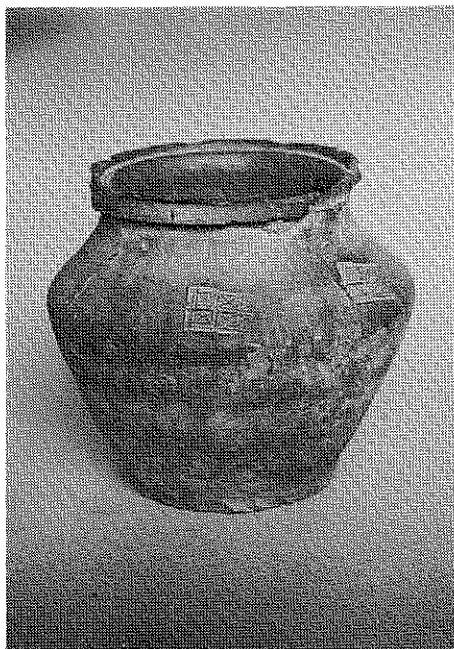
2. 水晶製舍利塔附壺1個 一志郡白山町川口 瀬古区 満岡忠成委員、服部貞蔵委員、仲見秀雄委員、

昭60. 2. 25調査

- 高田廃寺址より出土、石造十三重塔の基壇に埋蔵されていた。
- 柄田家所蔵の『諸要用控誌』中の「高田寺塔之銘記」によれば、正応5年(1295)高田寺塔の建立の旨が記され、該舍利塔納壺の鎌倉時代の作たることが記されている。



水晶製舍利塔 壺



諸要用控誌

○舍利塔納壺は常滑不識壺で、成形勁銘で、室町期の不識壺よりはや、薄手で、総体灰色気味である。肩部に格子文の捺文があるのは、紐土巻上成形の際の痕跡である。

○法 量

壺 高さ 21cm、口径 17cm、胴廻り 74cm

(満岡忠成)

表紙写真

	専修寺如来堂	専修寺防災
	水池土器製作遺跡	神島祭祀遺物
	上野城跡	
	金生水沼沢植物群落	カモシカ保護対策



山神の獅子舞



名張藤堂家邸址



旧小田小学校